

芸術の香り高く



■ 道爺湖給水塔に描かれた西拉雅の勇士
(2012.11.19)



■ 道爺湖給水塔に描かれた西拉雅の女性 (2012.11.19)

道爺湖給水塔の芸術化 印象的な西拉雅のデザイン

芸術家・許宗傑は、西拉雅文化の遺産と「飲水思源」の教えを結び付けて「印象・SIRAYA」を創作。南科の新たなランドマークとして注目されています。西拉雅文化の史料と図案を生かして男女の姿をデザインした芸術的な給水塔は、光や角度によって微妙な変化が生まれ、見る者の心を打ちます。

遊び心に満ちたトイレの芸術

迎曦湖にある公衆トイレに入るとカラフルなトイレのドアに思わず目が吸い寄せられます。これは、南科実中バイリンガル部の外国籍美術教師 Martin 先生の手によるものです。南科の建築と風景から着想を得た Martin 先生は10月と12月、抽象的な幾何学模様と空白を組み合わせて無限に広がる空想の世界を描き出しました。無味乾燥だった公衆トイレが Martin 先生のお陰でなんと楽しい空間に変身しました。



■ 南科実中バイリンガル部の外国籍美術教師 Martin Garcia 先生によるカラフルなトイレの壁絵

2012 年暮春芸文フェスティバル 耳で楽しむ世界

3月10日から4月28日の「暮春芸文フェスティバル」では、迎曦湖畔にある「迎賓彩帯」の下、8週間にわたって「世界多元文化環遊饗宴」野外コンサートが開かれました。それぞれの出演者がそれぞれの作風で演奏する名曲「黄色いリボン」を鑑賞した観客は、このささやかなコンサートを目（迎賓彩帯）と耳の両方で満喫していました。



南科芸術フェスティバル 南科物語

2012年11月17日から2013年1月27日まで「2012 南科芸術季～讓我們講一個南科的故事」と題して第3回南科芸術フェスティバルが開催されました。期間中、開幕イベント、芸術講座（2回）、芸術ワークショップ（10回）、公共芸術見学ツアー（40回）などが企画され、多くの市民の歓迎を受けました。また、フェイスブックでは映像で芸術作品の創作ストーリーを紹介し、公共芸術に関するコメントも数多く寄せられました。



■ 2012年南科芸術フェスティバルの多彩なプログラム
(2012.11.17)

テクノロジーも芸術の装い 高雄園区公共芸術

高雄園区は「テクノロジーと芸術の町」という理念の下、第一期公共芸術計画を推進しています。「参加と創作」を掲げて台南園区と同時期に開催した南科芸術フェスティバルには多くの市民が集まり、「テクノロジーと芸術の町」の雰囲気を楽しみました。



■ 高雄園区「紅拱門」
の公共芸術



■ 南科管理局の陳俊偉局長に作品について説明する出展者
(2012.12.19)

創意あふれる作品が一堂に Park17 創意設計展

生活を楽しむ「スロー」でクリエイティブな雰囲気作りにと、12月18日から21日までPark17の二階で「南科創意設計展」が開かれ、有名クリエイターの手になる工芸デザイン、パッケージデザイン、製品デザインなど各分野の受賞作品が展覧されました。参加者はこの創意あふれる空間で交流を深め、刺激を受けるとともに、新たな創作意欲を燃やしていました。



■ 植物のデザインで生命の躍動感を表現した高雄園区サービス・管理センター（建設中）

